


防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年4月23日(木)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかの家		加藤	遠藤
実施担当者	遠藤 昂			
参加者	メンバー			計 0 名
	スタッフ 遠藤			計 1 名
	V。他			計 名 合計 1 名


今回の目的	炭の着火訓練 防災用品の確認
実施内容	災害時用に保存してある炭の状態確認(湿気により着火可能か等) 実際に炭の着火 各メンバー及び職員の避難時荷物の確認 備蓄食品の確認
評価	敷地内建物外にある炭保管場所前にて着火。炭の状態、目視では特段湿りがあるように認識できなかった。実際着火した際は少々着火まで時間がかかる。(概ね一塊6分~7分程火を当て続けた)。点火出来ないわけではないが、新しいものを購入し交換しても良いと感じた。 防災用品はメンバー分・職員分ともリュック内確認。また同時に懐中電灯の点検をし、電池を新品と交換した。(交換前は電池の消耗からか暗い光だったが、交換後は通常の明るさとなった) 備蓄食料は水(保存水の為5年保存)食料共に人数分用意されている。賞味期限についてもまだ期間内であることを確認。 ※懐中電灯の電池は使用せずとも消耗している。こまめな点検をして緊急時にすぐ使用できるよう留意していく。
次回内容	避難経路確認・消火器訓練・消火器点検

防犯意識を高めるうえでも、常に入居者の皆さんと一緒に実施することが大切だと思います。災害時は入居者の皆さんがいて、火をおこすことになるはずです。お互い上手に分業が出来ると良いですね。

防災責任者:加藤 学




防災訓練 実施 報告書


実施日	2015年5月21日(木)	管理者	主任	担当者
施設名	みかの家		加藤	遠藤
実施担当者	遠藤 昂			
参加者	メンバー	計6名		
	スタッフ 遠藤	計1名		
	V。他	計0名	合計7名	

今回の目的	避難経路確認 消火器訓練・消火器点検
実施内容	<p>・避難経路確認 今回はみかんの家台所より夜間出火したことを想定して避難経路を入居者と共に確認した。避難場所はGH裏手にある畑。台所の位置関係により玄関から避難することが安全であると考えられる(テラスは台所前を通過しなくてはならない為、またテラスから避難すると畑に移動する際に台所横を通らなくてはならない為)テラスから避難する場合は洗面所乾燥機等が出火した場合になる。またGH前は車通りの多い細い道の為、避難はGH敷地内を通ることが安全。避難時は混乱により道路に飛び出してしまう可能性もあるので、有事の際はしっかりと敷地内を通り避難場所に行くよう伝えました。</p> <p>・消火器訓練 入居者と共に消火器の使用方法を確認。有事の際は入居者には避難を優先するよう念をおしていますが、使用出来るようになることも必要と考え今回は入居者と共にいった。</p> <p>・消火器点検 外装腐食なし。使用期間内であることを確認した。</p>
評価	<p>今回は入居者と共に自分達で避難経路を考えることを行った。入居者の中には危険と思われる経路を選択する方もいた。最終的には皆で台所出火の際は玄関から避難することを周知したが、実際火災の場面になるとスムーズに周知した避難経路を選択するかは不安が残るので、やはり常日頃からの訓練が必要であると実感した。</p> <p>消火器訓練に関しては全ての入居者が説明書通りに使用出来たわけではないが、消火器に触れたことがあるという経験だけでもしていただきたかったので実施した。</p> <p>また消火器点検では常日頃から消火器に目を配り、異変があるようなら職員に伝えていただくようお願いしています。職員のみでは不具合を取りこぼしてしまいます可能性があることを同時に伝えました。</p>
次回内容	火災を想定した避難訓練・消火器訓練・消火器点検

消火器は、どこに置いてあるかを確認し、消火器の近くに物を置かないということを確認しておくこともお願いいたします。


防災責任者: 加藤学 

防災訓練 実施 報告書


実 施 日	2015年6月23日(火)	管理者	主任	担当者
施 設 名	みかんの家		加藤	遠藤
実施担当者	遠藤 昂			
参 加 者	メンバー	計 6 名		
	スタッフ 遠藤	計 1 名		
	V。他	計 0 名	合計 7 名	

今回の目的	火災を想定した避難訓練 消火器訓練・消火器点検
実施内容	<p>・火災を想定した避難訓練</p> <p>先月防災訓練にて、避難経路の確認を行った。今月は皆で周知した避難経路が各入居者理解出来ているか、又その取り決めた避難経路で危険は無いのかを火災を想定した避難訓練にて検証した。</p> <p>①入居者の避難経路選択について</p> <p>夕食後 19:00 より、事前に伝えることなく火災が発生したと声を上げ避難誘導した。3名の入居者が一階リビングにおり、3名の入居者が2階にいた。台所から火災が発生した旨伝えると皆玄関へ向かい、GH敷地内(いちごの家の前を通り)を移動し、避難場所のGH裏にある畑に移動出来た。時間にして3分 10 秒ほどかかった。移動時に装具を使用している入居者についてはサンダルを着用していただいた。またスリッパを室内にて履いている入居者(2名)についてはスリッパのままでの移動、そして裸足または靴下で室内で過ごしていた入居者については自身の靴を着用してもらった。</p> <p>②消火器訓練・消火器点検</p> <p>今回の消火器訓練では、火災が発生した台所コンロに噴射することを想定し、各に入居者にみえてもらいながら職員が消火器を持ち、そして実際消火器を使用する格好をとる様をみていただいた。</p> <p>点検については使用期限の確認・腐食の確認を行う</p>
評 価	<p>①火災を想定した避難訓練について</p> <p>避難経路については皆さんにしっかりと先月の避難経路確認時に決めた経路を選択していただけたのでスムーズでした。</p> <p>外への移動の際、普段の行為から靴を履きかえようとする方も中にはいたが、スリッパを履いていた方にそのまま外に出ましょと伝えることですぐに理解していただき、これもまた混みあうことが予想された玄関もスムーズにクリアすることが出来た。</p> <p>時間に関しても極端に慌てることなく、安全に移動できる時間であると様子をみていて解釈しました。これ以上急ぐと転倒等の危険があるのではないかと感じました。</p> <p>②消火器訓練・消火器点検について</p> <p>火災発生の場合を入居者に依頼し、その合図を2階で聞いた職員が消火器を持ち現場(今回は台所)に向かい、消火剤を噴射する訓練を行った。概ね 1 分程で噴射する体制にはいった。入居者の方からは「早い」や「遅い」と各々によって違った意見をいただいた。</p> <p>点検に関しては使用期限内であることを確認、そして腐食等破損はみられなかった。</p>
次 回 内 容	地震を想定した避難訓練・ヘルメット着脱訓練

以前はスリッパで避難することにすごく抵抗を感じていました。
それが軽減されたのは訓練の積み重ねですね。

防災責任者:加藤 学 

防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年7月22日(水)	管理者	主任	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤 学			
参加者	メンバー	計6名		
	スタッフ 加藤	計1名		
	V。他	計0名	合計7名	

今回の目的	地震を想定した避難訓練 ヘルメット着脱訓練
-------	--------------------------

実施内容

・地震を想定した避難訓練
みかんの家のみでの食事がスタートしたので、みかんで食事中に地震が起きた事を想定し避難訓練をしました。メンバーさんには事前にお伝えしておりません。
18:20 避難訓練スタート。職員の「地震だ」という声に誰も反応せず。何度か言っているうちにメンバーさん達も理解をしてくださいましたが、机に潜ったメンバー3名、玄関に向かったメンバー1名、そのまま食べ続けるメンバー2名と皆さんバラバラの行動をとっています。
地震の場合は揺れがおさまるまで机の下に潜る事をお伝えし、机の下に潜ってもらいました。揺れがおさまったので外に避難する事をお伝えすると、混乱する事無くスムーズに玄関に向かっています。玄関を出た後は、皆さんの行動を見る為に職員は声掛けをしませんでしたが、訓練で慣れているのかしっかりとホームの敷地内を通り裏の畑まで移動しています。

・ヘルメット脱着訓練
玄関に置いてあるヘルメットを各自で取って来てもらい、それぞれ自分でかぶってもらいました。あご紐を気にせずそのままかぶってしまう方、あご紐を外して付ける事ができるが調整はできない方、調整もしっかりできる方と様々でした。

評価

避難訓練については、職員の「地震だ」という声を冗談ととらえてしまうメンバーさんが多いようで「地震だ」と言っている職員を見て笑っているメンバーさんが数人いらっしゃいました。「地震だ」「火事だ」という冗談を職員は言わないので、職員の口からその言葉が出た場合はすぐに避難しましょうとお伝えしています。
また地震の場合と、火災の場合の避難の仕方の違いが分からないメンバーさんも居ましたので「地震の場合は揺れがおさまるまで机の下に潜る等して頭を守ってください」と繰り返し説明させていただきました。
ヘルメット脱着訓練はあご紐の調整までできるメンバーさんは少ないので、ヘルメットにそれぞれ名前やマークを記入し各メンバーさん用にあご紐まで調整した物を置いておく必要があると感じました。


次回内容	転倒防止器具の点検・消火器点検
------	-----------------

ヘルメットはどの段階でかぶるのか、そこをしっかりと抑えておくといいですね。 以前も揺れている最中にヘルメットを取りに行こうとしたメンバーがいるという報告があがっています。

防災責任者:加藤 学



防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年8月27日(木)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	遠藤
実施担当者	遠藤 昂			
参加者	メンバー			
				計 0 名
	スタッフ	遠藤	計 1 名	
	V o 他	計 0 名		合計 1 名

今回の目的	転倒防止器具の点検 消火器点検
実施内容	キッチンにて食器棚、冷蔵庫、収納棚に取り付けてある転倒防止器具の点検を行った。 天井とそれぞれの物を突っ張り棒で固定するタイプのものである。 消火器については外装の腐食や使用期限の確認を行った。
評価	転倒防止器具については古さはあるものの、しっかり固定されていることを確認した。 しかし耐用年数については不明であるので、適時確認し不具合が少しでも生じているようなら即座に交換するよう留意する。 消火器に関しては外観んにサビ・腐食も無く、また使用期限内であることを確認した。 同時に消火器の使用方法も再度確認している。 個人の居室については後日メンバーさんと共に確認します。
次回内容	地域防災拠点への避難訓練


共有部分の入居者のみなさんと一緒にやる良いと思います。そのほか入居者のみなさんの防災意識の向上につなげたいです



防災責任者：加藤 学



防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年9月16日(水)	管理者 部長	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤 学			
参加者	メンバー			計6名
	スタッフ 加藤			計1名
	V.o 他			計0名
				合計7名

今回の目的	転倒防止器具の点検(個人の居室)
実施内容	<p>個人の居室にある家具に設置されている転倒防止器具の点検を行った。</p> <p>まず各メンバーさんに自分で家具を揺らしたりしてもらい転倒防止器具がしっかり効いているかの確認をしてもらい、その後職員が転倒防止器具が劣化していないか等の最終チェックを行った。</p>
評価	<p>背の高い筆筒などを使用しているメンバーさんは居なかったため、転倒防止用のつかえ棒が設置されている居室はなく、主に家具の下にゴム状の板を挟むタイプの転倒防止器具が設置されていた。メンバーさんに家具の下にしっかり設置されているか、揺らしても倒れないかを確認してもらった後に職員が再度揺らして確かめてみました。またテレビの下に設置されているゼリー状の転倒防止器具に関してはゼリーが劣化し硬化していないかをメンバーさんと共に確認しています。特に問題のある居室はありませんでした。また最後にリビングのテレビに設置されている転倒防止器具の点検をして、こちらも問題が無い事を確認しています。</p>
次回内容	地域防災拠点への避難訓練

大きな地震の際はクローバーの引き出しごとひっくり返る危険性
 あり、床下にある家具の下にゴム状の板を挟むタイプの転倒防止器具が設置されているか、揺らしても倒れないかを確認してもらった後に職員が再度揺らして確かめてみました。またテレビの下に設置されているゼリー状の転倒防止器具に関してはゼリーが劣化し硬化していないかをメンバーさんと共に確認しています。特に問題のある居室はありませんでした。また最後にリビングのテレビに設置されている転倒防止器具の点検をして、こちらも問題が無い事を確認しています。

防災責任者: 加藤 学



防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年10月3日(土)	管理者	主任	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤 学			
参加者	メンバー			計5名
	スタッフ 加藤			計1名
	V。他		計0名	合計6名


今回の目的	地域防災拠点への避難訓練
実施内容	<p>今回の避難訓練はいちごの家と合同で行っています。</p> <p>みかんの家では前日の夜に「明日は 8:45 から避難訓練を開始します。8:45 には出発できるよう各自で準備をしてみかん玄関に集まってください」とメンバーさんに伝えてあります。実際の災害時に職員にもしもの事があり指示を出せない場合を想定し、当日は何も伝えていません。</p> <p>8:45 玄関集合、A さん以外は全員集まっています。A さんは朝食後に寝てしまったようで、声掛けにも応じませんでした。A さんを怪我人と想定し「大きな地震が起きて今にもホームが崩れそうな場合、A さんを助けますか？それとも二次災害を防ぐためにA さんを置いて避難しますか？」と尋ねたところ、避難した方が良いとの意見が多かったのでA さんを置いて避難訓練を開始しています。職員が怪我をして避難できない場合を想定し、避難経路は「車通りが少なく、広い道を選んでください。」とだけ伝えB さんに選んでもらいました。</p> <p>9:00 中和田南小学校到着、B さんが選んでくれた避難経路は、一番安全だと考えられる経路だったので「もし職員が怪我をして動けない場合は、B さんの指示に従って今回のルートで小学校まで避難してください」と伝えてあります。帰りも同じ経路で小泉さんを先頭にホームまで戻っています。9:15 ホーム到着、避難訓練を終了しています。</p>
評価	<p>朝の準備ですが、B さん・C さんは10分前位から準備が終わり、リビングで待機していました。避難開始5分前位に小泉さんが「そろそろ避難訓練するから準備しよう」とD さん・H さんに伝えて下さり、8:45 には四人とも準備ができ、玄関で待機しています。A さんに関しては避難訓練自体を忘れていたようなので、後でどんな訓練をしたか説明し、次回は注意するようにお伝えしています。避難経路は全てB さんに考えてもらいましたが、車通りが少なく、安全な道を選び、皆さんを小学校まで誘導してくださいました。横断歩道を渡る場所は一番後ろを歩いている職員が到着するまで待ち、全員揃ってから渡るなど周りのメンバーさん達も気にしながら先頭に立ち皆さんを誘導してくださいました。</p> <p>今回は休日の朝という事もあり、いちご・みかん共に帰省メンバーさんがいたので、職員2名での避難訓練を安全に行うことが出来ましたが、全員揃っている場合は難しいと思いました。実際の災害時は近隣の住人の協力・また今回のように、メンバーさんの力を借りる必要があると感じました。</p>
次回内容	合同防災会議

実際の場面の中で、ヒトを一人置いて避難するというのは大変な決断です。そのヒトがどのような状態だったらあきらめるという判断をするのか、答えは出ないと思いますが話し合っておく価値はあると思います。

防災責任者:加藤 学



防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年11月18日(木)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤 学			
参加者	メンバー			計 0 名
	スタッフ 高橋、春田、櫻井、海老原、加藤			計 5 名
	V。他			計 0 名
				合計 5 名


今回の目的	合同防災会議(上矢部にて)
実施内容	理事長が用意して下さった防災時のマニュアルを基に、法人理念に基づいた防災に対する方針を勉強。その後グループで質疑応答。
評価	<p>事業所の被害状況を迅速に伝えるために予め被害状況報告書を準備しておくなど、備蓄品の他に事前準備をしておく便利なものが色々あることを知った。</p> <p>災害時に混乱せず対応できるよう職員全員が一時避難場所だけではなく広域避難場所・災害時に対応してくれる医療機関なども把握しておく必要がある。</p> <p>施設長や主任は職員の数や被害状況に応じ、臨機応変に担当者の任命・指示・把握をする必要があり、様々な状況を想定した訓練を日頃から行って慣れておく必要があると感じた。</p> <p>また職員もどの担当になっても対応できるよう訓練しておく必要がある。</p> <p>法人全体で事前に発災時参集職員を決め、災害時に誰がどこの事業所に駆けつけるのかを職員全員で把握しておく必要がある。</p>
次回内容	GH 合同防災訓練

日中事務所のGHでは災害に對する備えをきちんとしておく必要がある。それをいかに思っているかを、定期的に実施する必要がある。定期的にこの集まりを持つ必要性をあらためて感じている。


防災責任者: 加藤 学



防災訓練 実施 報告書


実施日	2015年12月22日(月)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤 学			
参加者	メンバー	計 6 名		
	スタッフ 加藤			
	その他	計 名	合計 7 名	

今回の目的	火災を想定した訓練 消火器訓練、消火器点検
実施内容	<p>・火災を想定した訓練 キッチンから火災が起きた事を想定し、玄関から裏の畑まで避難しました。今回は負傷者(Aさん)を設定し、メンバーさんに手伝ってもらい負傷者を担ぎ上げ避難する訓練もしています。</p> <p>・消火器訓練、消火器点検 お風呂場から火災が起きた事を想定し、第一発見者: さんの「火事だー」という声を合図に職員が消火器を持って消化をする訓練をしました。</p>
評価	<p>・火災を想定した訓練 自室のベットに横たわっている負傷者の A さんを、職員とメンバーさん2名で担ぎ上げ玄関の外まで運び出す訓練をしています。他のメンバーさんには先に外に避難してもらい、いちごの家の玄関前で待機してもらいました。またメンバーさんの安全を考え、負傷者は職員一人で運び出す訓練もしました。Aさん位の体重の方であれば背負ったり、両脇に腕を入れひきずって運び出す事は可能ですが、大柄な方になると運び出すのが難しく思えました。</p> <p>・消火器訓練、消火器点検 第一発見者の B さんが、入浴するために脱衣所に入った際に、浴槽が燃えているのを発見し、職員が消火器を持って消化をする訓練をしました。メンバーさん達には自力でいちごの玄関前まで避難していただき待機してもらいました。金指さんの「火事だー」という声と共に外に避難してくれたメンバーさんもいましたが、普段と変わらずリビングでテレビを見ているメンバーさんや、職員と一緒にお風呂場まで着いてきてしまい、消火訓練をする職員をみながらケラケラ笑っているメンバーさんがいました。</p> <p>今回このような消火訓練は初めてなので、自分たちがどうすれば良いか分からなかったようですが、何回か繰り返すことでメンバーさんたちも避難してくれるようになるかと思えます。</p> <p>また消火器の点検をしましたが、劣化や破損は見られず、使用期限切れもありませんでした。</p>
次回内容	防災用品確認

防災責任者: 加藤 学 

本文にあるように入居者も自分で判断して自力で避難するということも、とても大事だと感じました。また今後の課題としてお風呂場まで着いてきてしまい、消火訓練をする職員をみながらケラケラ笑っているメンバーさんがいました。


防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年12月25日(金)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	遠藤
実施担当者	遠藤 昂			
参加者	メンバー			計0名
	スタッフ 梅谷、加藤、櫻井、三浦、松下、遠藤			計6名

今回の目的	GH 合同防災訓練 ※れもんの家で実施
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、防災管理責任者について 2、防災の手引きについて 3、備蓄品、資材などの災害時必要品について 4、各 GH の防災訓練実施方法共有
評価	<p>1、防災管理責任者について 消防計画作成や火器管理の為、各 GH に防火管理責任者の配置を来年度の目標として設定した。防火管理責任者には2日間の講習が必須となっているため、シフトの都合を考慮し、受講できる体制を整える。</p> <p>2、防災の手引きについて 12月25日締め切りの防災の手引きの必要事項記入を周知した。みかんの家・いちごの家の記入は12月25日時点ですでに作成済み。みんとの家・れもんの家については12月25日締め切りまでに作成。 みんとの家作成者は櫻井副主任、れもんの家作成者は松下となった。 また作成に伴い、近隣施設との連携も必要となるので、各 GH 近日中に挨拶へ出向くこととした。防災の手引きについて、各 GH プリントアウトをし、パート職員にも必ず目を通してもらい、月に一度繰り返し読み返してもらい必要があるという意見が出た → 有事の際は手引きを掘り返している時間はないので、防災訓練実施時にメンバーとともに内容を読み返すこととする。</p> <p>3、備蓄品、資材などの災害時必要品について 防災の手引きにも記されている備蓄品について、食料は各 GH 3日分確保しているが、スコープ・パールといった災害時の資材については整っていない GH があった。食料だけに目がいきがちだが、しっかりと手引きに沿った準備を行うこととした。遅くとも年度内ですべての用品を揃えることとなった。 (主に、トイレパック・パール・燃料)</p> <p>4、各 GH の防災訓練実施方法の共有 月1回行っている防災訓練の方法や、困っていることを共有した。 みかんの家より: 職員の災害時の動きを、メンバーに評価してもらっている。出火から消火までの時間をメンバーにカウントしてもらい、無駄な動きがないかなど意見をもらうことをしている。 みんとの家より: 避難時に車いすを使用しようとしたことがあった。避難の際は車いすをセッティングしている余裕はないので、原則車いすの使用は控えたほうが良い。 れもんの家より: 各居室やキッチンなど、常に鍵を掛けている状態。有事の際はこのような施錠が避難に影響してしまうのではないかと不安。事業所の被害状況を迅速に伝えるために予め被害状況報告書を準備しておくなど、備蓄品の他に事前準備をしておく便利なものが色々あることを知った。 災害時に混乱せず対応できるよう職員全員が一時避難場所だけでなく広域避難場所・災害時に対応してくれる医療機関なども把握しておく必要がある。 主任は職員の数や被害状況に応じ、臨機応変に担当者の任命・指示・把握をする必要があり、様々な状況を想定した訓練を日頃から行って慣れておく必要があると感じた。 また職員もどの担当になっても対応できるよう訓練しておく必要がある。 法人全体で事前に発災時参集職員を決め、災害時に誰がどこの事業所に駆けつけるのかを職員全員で把握しておく必要がある。</p>
次回内容	火災を想定した訓練 消火器訓練、消火器点検


GHは基本一人体制なので不安なところも感じます。災害発生時 防災責任者:加藤 学 印
 いたる時などGH同志と一緒に...という事があると思。日頃の練習を最にお願いしたいです。

防災訓練 実施 報告書

実 施 日	2016年1月26日(火)	管 理 者	施 設 長	担 当 者
施 設 名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤			
参 加 者	メンバー			計 0 名
	スタッフ 加藤			計 1 名
	V。他			計 名 合計 1 名


今回の目的	防災用品・備蓄品の確認
実施内容	防災用品・備蓄品に足りない物は無いか、賞味期限は切れていないか等の確認をしました。
評 価	<p>前回防災用品を確認した時は、職員・メンバーの災害リュックの中身を確認したので、今回はホームの備蓄品を確認しています。</p> <p>飲料水に関しては賞味期限が3年程残っているので問題なし。</p> <p>食料は賞味期限が少ないものは消費したので、新しい物を購入しています。</p> <p>今まで備蓄品として揃えていたカップラーメンは賞味期限が短いので、今回カップラーメンは買わずレトルト食品を多めに購入しました。</p> <p>またランタンやラジオに使用する乾電池も使用期限が短くなってきているので新しい物を購入しました。古いものはホームで使用したいと思います。</p>
次回内容	合同防災訓練

是非、次回は入居者のみなさんと一緒に確認して下さい。
 且つ災害時にはどんな物が必要かわかるか、この備蓄品で何日大丈夫か、
 一回にどれくらい必要かわかるか、そんなことを話しておいて下さい。

防災責任者：加藤 学 




防災訓練 実施 報告書

実施日	2016年2月17日(水)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤			
参加者	メンバー	計 6 名		
	スタッフ 加藤	計 1 名		
	V。他	計 0 名	合計 7 名	

今回の目的	震災が起き電気・ガスが止まった事を想定してのホームでの生活
実施内容	震災が起き夕食の時間帯(18:00~19:00)に電気・ガスが止まったと想定しメンバーの皆さんに普段の生活を送ってもらいました。また震災の影響で給食業者から食材が届かないという設定でホームの備蓄品を夕食の代わりに召し上がってもらいました。
評価	<p>丁度Aさんの帰宅時間と訓練の時間が重なったので、電気を消した状態でAさんに入浴してもらいました。Aさんに感想を聞くと「シャンプーとボディソープの区別がつかず大変でした」とおっしゃっていました。皆さんには夕食の代わりに備蓄品の「五目御飯」を召し上がってもらいました。味は悪くなかったようですが、何を食べているのかわからないという意見がありました。備蓄品だけでは皆さん物足りないようでしたので、田丸さんが作ってくださった食事を召し上がっていますが、やはり暗い中での食事で視覚の楽しみが無くなっているので「味がいつもと違う」とBさんが話していました。食事の準備を普段通りメンバーさんに手伝ってもらいましたが、お茶碗・お椀が誰のかの区別がつかず苦戦していました。</p> <p>職員が感じたのは、暗い中での食事は、訓練とわかっているにもかかわらず人の気持ちを暗くするようで、普段ふざけたり、おしゃべりをするメンバーさん達も皆静かに食事を食べていました。</p> <p>訓練が終わり電気を点けた途端に皆さんの顔が笑顔になったのが印象的でした。</p> <p>普段繰り返し行っている避難訓練に慣れてしまって、緊張感が無い訓練が続いていましたが、電気を消すことで皆さんに「いつもと違う」と感じてもらう事ができました。</p> <p>この経験を踏まえ、今後の訓練に取り入れていきたいと思えます。</p>
次回内容	2015年度のまとめ 2016年度の計画作成


評価の内容及びメモ等からよく情景が目に浮かぶ。
 企画者同士の訓練 ありかっじました

防災責任者: 加藤 学 

防災訓練 実施 報告書

実施日	2016年3月24日(木)	管理者	施設長	担当者
施設名	みかんの家		加藤	加藤
実施担当者	遠藤 昂			
参加者	メンバー			計 0 名
	スタッフ 加藤・遠藤			計 2 名
	V。他			計 名 合計 2 名

今回の目的	防災会議 2015 年度まとめ 防災計画 2016 年度計画作成
実施内容	2015 年度に行った防災訓練について話し合い反省点等あったら 2016 年度防災訓練に役立てる。 2016 年度の防災計画年間予定を作成する。
評価	メンバーさん達が防災訓練に慣れてしまい、緊張感が足りなくなっているように感じるので、避難訓練も毎回工夫を凝らす必要があると感じる。 合同防災訓練時に停電を想定した避難訓練を行なったが、普段電気が使えないという場面が無いので、メンバーさん達にとっても新鮮味のある避難訓練を行なう事ができたように感じる。 備蓄品については賞味期限が近付いているものは消費し新しい物を揃える事ができたので、来年度も古い物は計画的に消費し新しい物と入れ替えるよう取り組む。 2016 年度防災計画は 2015 年度と大きな変更はしないで、訓練内容を毎回違うものにする。 (停電時を想定した避難訓練・煙が充満した中での避難訓練など)
次回内容	防災用品の確認

防災訓練の反省で、必ずあかしのP. マネリ化、101. 万が一の際に
 役に立つ事は、この辺りをバリエーション良くして、大変な事と思いき、
 また、法人で、2015年、具体的な全体訓練を、この辺りにして、


防災責任者: 加藤 学

